

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 北川精機株式会社

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 条範

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 小林 由和

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	862	19.2	55	—	62	—	73	—
26年6月期第1四半期	723	71.5	△78	—	△120	—	△110	—

(注)包括利益 27年6月期第1四半期 69百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 △105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	10.56	—
26年6月期第1四半期	△15.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		%	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	6,827		1,081			12.0	118.22	
26年6月期	6,999		1,015			10.7	107.37	

(参考)自己資本 27年6月期第1四半期 822百万円 26年6月期 747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,340	82.5	165	—	115	—	115	—	16.53
通期	4,630	15.0	245	45.8	150	103.4	115	28.0	16.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	6,959,600 株	26年6月期	6,959,600 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	1,796 株	26年6月期	1,796 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	6,957,804 株	26年6月期1Q	6,957,804 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられましたが、個人消費におきましては消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や天候不順などにより一部で弱さが残る等、先行き不透明な状況で推移しました。

世界経済につきましては、米国経済は引き続き堅調であります。中国・その他新興国経済の停滞、ウクライナや中東などの地政学リスクの高まり等、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画の最終年度として、「真空プレス技術の深耕」「収益力の強化」「活力溢れる組織の実現」を基本方針に、スマートフォン・タブレット端末関連企業向けプリント基板成形用プレス機械や建材関連企業向け合板用プレス機械を中心とした営業強化、高品質・高付加価値製品の開発、諸経費削減、大型案件毎の管理による原価低減等、積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 862 百万円（前年同四半期比 19.2%増）、営業利益 55 百万円（前年同四半期は 78 百万円の損失）、経常利益 62 百万円（前年同四半期は 120 百万円の損失）、四半期純利益 73 百万円（前年同四半期は 110 百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(産業機械事業)

スマートフォン・タブレット端末関連企業向けプリント基板成形用プレス機械の国内向け大型案件の売上を計上できたことと、諸経費の削減と原価管理の徹底に取り組んだことにより、売上高 747 百万円（前年同四半期比 71.1%増）、営業利益 73 百万円（前年同四半期は 95 百万円の損失）となりました。

(建材機械事業)

海外向け大型案件の合板プレス・合板機械の受注が先送りになったことと、受注済案件の納期が第4四半期連結会計期間に集中しているため、売上高 85 百万円（前年同四半期比 67.3%減）、営業損失 19 百万円（前年同四半期は 15 百万円の利益）となりました。

(その他)

油圧機器の売上が好調に推移し、売上高 29 百万円（前年同四半期比 16.1%増）、営業利益 3 百万円（前年同四半期比 879.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は 6,827 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 171 百万円の減少となりました。主な減少は現金及び預金 328 百万円、受取手形及び売掛金 149 百万円、主な増加は仕掛品 233 百万円です。

(負債)

負債合計は 5,745 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 237 百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金 60 百万円、流動負債のその他に含まれる前受金 97 百万円の減少によるものであります。

(純資産)

少数株主持分を含めた純資産合計は 1,081 百万円となり、前連結会計年度末に比べて 66 百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益 73 百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 26 年 8 月 19 日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度に営業利益・経常利益を計上し、当期純利益も確保することができました。また、当第1四半期連結累計期間においても同様に利益を確保することができました。しかしながら、過去の損失計上により、3,786百万円と当社グループの利益水準に比し多額の借入金を負っていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。これに対し当社グループでは、以下の対応により、当該の状況の解消を図るとともに、主要取引銀行による支援体制が確保できており、今後1年間の資金計画等を勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当社グループでは、当該状況を解消させるため、平成24年7月より平成27年6月をゴールとする中期経営計画に掲げた3つの重点項目「真空プレス技術の深耕」「収益力の強化」「活力溢れる組織の実現」に積極的に取り組み、環境の変化にも柔軟に対応できる体制を引き続き強化してまいります。また、スマートフォン・タブレット関連企業に納入する「プリント基板製造装置」や建材関連企業に納入する「合板プレス」を軸とし、さらなる売上拡大と収益性を向上させ、経営基盤の強化と財務体質の安定・改善を図るため、以下の取り組みを推進してまいります。

(経営基盤の強化)

① 真空プレス技術の深耕

- ・独自技術の優位性を活かした高品質・高付加価値製品の開発
- ・国内外でKITAGAWAブランドの価値向上

② 収益力の強化

- ・コア事業での売上増強と採算管理徹底

③ 活力溢れる組織の実現

- ・「創造的発想の重視」「困難に挑戦する行動力」「コミュニケーションの深化」を鍵とした組織の活性化
- ・若手人材の積極的な登用

(財務体質の安定・改善)

① 金融機関との連携

- ・メインバンクを中心とした取引金融機関との密接な関係維持、必要資金の確保

② 資産の売却等

- ・不採算事業からの撤退に伴う遊休設備等売却

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,169,449	841,439
受取手形及び売掛金	1,544,210	1,394,630
商品及び製品	725	1,862
仕掛品	659,149	892,395
原材料及び貯蔵品	198,639	202,267
その他	136,456	195,712
貸倒引当金	△25,767	△25,076
流動資産合計	3,682,864	3,503,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	932,119	998,021
土地	1,761,091	1,761,091
その他(純額)	290,057	233,268
有形固定資産合計	2,983,268	2,992,381
無形固定資産		
	7,292	6,679
投資その他の資産		
その他	338,974	338,978
貸倒引当金	△13,390	△13,390
投資その他の資産合計	325,584	325,588
固定資産合計	3,316,145	3,324,649
資産合計	6,999,009	6,827,880
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,077,148	1,030,892
短期借入金	2,722,518	2,737,904
未払法人税等	38,792	3,919
賞与引当金	23,832	47,437
役員賞与引当金	8,700	10,700
製品保証引当金	26,529	31,488
受注損失引当金	723	487
その他	831,562	682,071
流動負債合計	4,729,806	4,544,903
固定負債		
長期借入金	864,319	803,549
役員退職慰労引当金	32,425	34,239
退職給付に係る負債	319,156	325,646
その他	38,142	37,581
固定負債合計	1,254,044	1,201,017
負債合計	5,983,851	5,745,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,830	1,250,830
資本剰余金	1,256,565	1,256,565
利益剰余金	△1,781,397	△1,707,954
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	724,902	798,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,399	14,139
為替換算調整勘定	6,723	10,051
その他の包括利益累計額合計	22,123	24,191
新株予約権	—	4,140
少数株主持分	268,132	255,282
純資産合計	1,015,158	1,081,959
負債純資産合計	6,999,009	6,827,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	723,390	862,304
売上原価	623,174	626,005
売上総利益	100,216	236,298
販売費及び一般管理費	178,652	180,922
営業利益又は営業損失(△)	△78,436	55,376
営業外収益		
受取利息	194	49
受取配当金	322	397
雇用調整助成金	1,432	—
為替差益	—	29,220
その他	1,650	2,795
営業外収益合計	3,599	32,462
営業外費用		
支払利息	17,446	16,430
為替差損	15,357	—
遊休資産諸費用	11,487	8,461
その他	1,210	54
営業外費用合計	45,501	24,946
経常利益又は経常損失(△)	△120,338	62,892
特別利益		
固定資産売却益	31,780	—
特別利益合計	31,780	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,766
投資有価証券売却損	2,116	—
損害賠償金	15,000	—
特別損失合計	17,116	1,766
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△105,675	61,126
法人税等	3,492	△5,966
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△109,167	67,092
少数株主利益又は少数株主損失(△)	862	△6,350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△110,030	73,442

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△109,167	67,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,231	△1,259
為替換算調整勘定	△139	3,327
その他の包括利益合計	4,091	2,068
四半期包括利益	△105,075	69,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105,938	75,510
少数株主に係る四半期包括利益	862	△6,350

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業機械 事業	建材機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	436,953	261,137	698,090	25,300	723,390	—	723,390
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	—	32	4,541	4,573	△4,573	—
計	436,985	261,137	698,122	29,841	727,963	△4,573	723,390
セグメント利益又は損失(△)	△95,882	15,016	△80,865	388	△80,477	2,041	△78,436

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業機械 事業	建材機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	747,609	85,329	832,938	29,365	862,304	—	862,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	—	73	13,897	13,971	△13,971	—
計	747,683	85,329	833,012	43,263	876,275	△13,971	862,304
セグメント利益又は損失(△)	73,708	△19,206	54,501	3,799	58,301	△2,925	55,376

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。